

事務事業 No./名称	■サービス部門 生涯-18 □支援部門		永福寺跡環境整備事業				
主管課	文化財課	関連課	世界遺産登録推進担当				
分野名	歴史環境						
目標 (目標値)	国指定史跡永福寺跡を保存・整備し、幅広く公開・活用を図る。						
人口等のデータ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考		
	人口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	21,370	16,235	123,247			
	(国・県)	14,424	7,141	82,150			
	(負担金等)			36,600			
	(一般財源)	6,946	9,094	4,497			
	人員配置数	1.5	1.5	1.5			
	人件費(千円)	14,535	14,438	14,246			
事務事業運営経費	協働のパートナー						
	総事業費(千円)	35,905	30,673	137,493			
	市民1人当りの経費(円)	203	174	779			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
整備の進捗状況(%)	○	目標値	36.1	23.1	35.2	25.3	100
		実績値	19.5	20			

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。			
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。			
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	
永福寺跡環境整備事業	21,370千円	①効率性 △	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○	⇒	■A □B □C □D □E
	事業の概要	国指定史跡永福寺跡保存整備基本計画に基づき史跡を国・県の補助金を活用して、保存・整備し、公開活用を図る。					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要						
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要						
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要						
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要						

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)							
H22年度の課題	文化庁との協議により、大きく整備方針が変更となった。						
課題解決のための取組	新たな方針により、変更した工程に沿って事業を進める。						
未解決の課題	三堂基壇苑池の復元整備に向け、着実に事業を進めなければならない。						
今後の方針	史跡永福寺跡整備委員会の助言等に基づき、国・県及び関係者と調整を行い、着実に事業を推進する。						
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	⇒	A	※ □事業完了	課長名	小林 正敏	

